

● Lambda Nova BASIC SYSTEM から更に上位機種へ●

Lambda Nova BASIC SYSTEMはスタックスのイヤースピーカーシリーズの中で、丁度真ん中に位置する製品ですが、さらに下記の製品をお求めいただくことによりグレードアップが計れます。

●イヤースピーカー

Lambda Nova CLASSIC (¥35,000)
BASICのすぐ上に位置する上級機種で、振動膜の厚みとケーブルの材質がグレード・アップしたモデルです。

Lambda Nova Signature (¥43,000)
CLASSICからさらに振動膜の厚みとケーブルの構造をグレードアップしたモデルで、Lambda Nova シリーズの中でも最上級機種です。

Lambda Nova シリーズの比較

	振動膜の厚み	防湿膜*の厚み	ケーブルの材質	色
BASIC	2.0 μ m	1.5 μ m	無酸素銅	黒
CLASSIC	1.5 μ m	1.5 μ m	PC-OCC	グレー
Signature	1.5 μ m	1.0 μ m	低容量幅広 PC-OCC	茶

*防湿膜とは— 発音部分にゴミや湿気が入りこまないよう、固定極の外側に用意された薄い膜です。

●ドライバーユニット

○SRM-3 (¥45,000)
基本回路はSRM-Xhと同じですが、大型電源と高級アッテネーターを採用し、入力にバラレルに出力端子を用意しました。録音のモニターにイヤースピーカーを— という方にもお薦めしたい製品です

○SRM-X PRO (¥45,000)
SRM-Xhの母体となった製品で、ポータブル・ユースを意識したモデルです。別売りのNiCad電池BPS-600をねじ止めすることで屋外の生録音などに最適です。接続できるイヤースピーカーもBASICなど、PROバイアスのイヤースピーカー1台と1960年に発売されたSR-1などノーマルバイアスのイヤースピーカーが1台同時に接続できます。フロント・パネルにはミニ・ジャックが用意され、リア・パネルの入力とバラレルに接続されていますから、こちらを入力して使ってもよし、バラレル・アウトとして使ってもよしと機能が充実しています。

○SRM-1/Mk2 P.P. (¥65,000)
SRMシリーズの基本形。1979年に発売されたSRM-1に改良が加えられ完成されたモデルです。安定度抜群のソリッド・ステート回路ですからいかなるジャンルのソースでも対応し、安心してお使いいただける製品です。プロ・バイアスが2回路用意されており、Lambda Nova BASICが2台同時にお聴きになれます。

○SRM-T1S (¥90,000)/ T1W (¥110,000)
イヤースピーカーと真空管との組み合わせは今最もお薦めできる組み合わせです。出力段に高音質双三極管6FQ7を採用し、初段にはロー・ノイズのDUAL FETを採用。差動回路を生かしてバランス入力も可能です。T1SとT1Wの主な違いは次の通り。

SRM-T1SとSRM-T1Wの違い

	入力の数	バランス入力	出力の数	出力の切り換え
SRM-T1S	2	入力2を切り換えて	RCA:1	DIRECT OUTのみ
SRM-T1W	3	入力3を切り換えて	RCA:1 XLR:1	FIXEDとVARIABLE

その他の機能: イヤースピーカー端子のバイアス電圧可変: 1

●アクセサリについて●

- 延長コード
SRM-Xhから離れた位置でイヤースピーカーをお聴きになりたい— そんな場合にお役に立つのが延長コードです。3種類(SRE-15N (¥4,000)、SRE-16 (¥6,000)、SRE-Signature (¥8,000))あり、いずれも長さは5mです。
- ヘッドフォン・スタンド HPS-1 (¥3,500)
イヤースピーカーを使わない時に掛けておくのに便利なヘッドフォン・スタンド HPS-1は隠れたベストセラー商品です。コードを丸めて、しまうことができます。
- プロテクション・ザック (¥800)
イヤースピーカーを有害なほこりや塵からまもるために開発されたプロテクション・ザック。ヘッドフォン・スタンド HPS-1と共にイヤースピーカを大切にする方に是非お使いいただきたいアクセサリです。

SRM-3 ¥45,000



SRM-T1S ¥90,000



BPS-600 ¥11,000

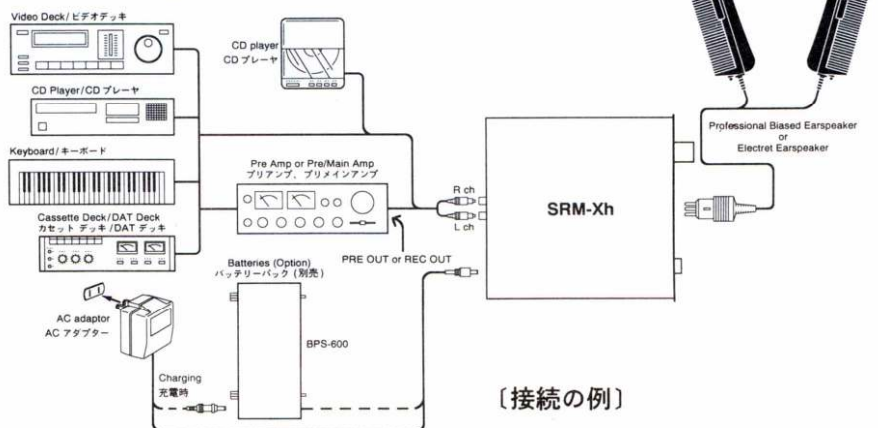
SRM-X PRO ¥45,000



SRM-T1W ¥110,000



SRM-1/MK-2 PP ¥65,000



〔接続の例〕